

愛知県には、愛知県立大学と名古屋市立大学があります。京都にも府立大学と市立の大学がある。これらは、二つあるからといって問題になっているわけではないと思うんですね。大学は必要

大阪府立大学問題を考える会代表 のさわみちあきさん

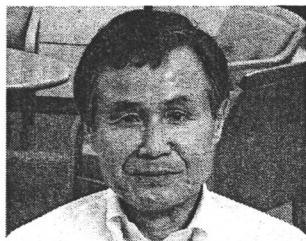
教育介入する首長 選ばない

る知事や市長を選ばなければいけません。維新の知事や市長では、それはできないと思いまますね。

新しい大阪

しかし、民意は「反対」の意思を示し、大阪市の存続が決まった。大阪市は市立大学として大学を存続させるという、世論に従った結論を下すべきです。この民意に従い、これを生かしていくのが政治のあるべき姿だと愚いまま。

維新の会は、二重行政の解消のために「大阪都構想をやるんだ」と言つていきました。その典型例が府市の大連合でした。



だから存在し、住民のために教育や研究をしていくんですね。

大学をどうしていくか、大学が発展するにはどうしたらしいのかについては、大学の関係者でしっかりと議論するべきであって、知事や市長がやりたいことを押し付けようなどとはやめぬべきです。

府議会、市議会の議員が新しく選挙で選ばれ、住民投票で大阪市が存続するという結果が出たもので、次の府知事、大阪市長の選挙は、大学の方を左右する点でも非常に重要な選挙です。

A black and white portrait of Matsubayashi Toshiyuki, a man wearing glasses and a suit, looking slightly to the right of the camera.

なかもと かずあき さん
仲本 和明

大阪市立大学の統合問題を考える会世話人

大学自治守る知事・市長こそ

した。つまり、ご都合主義なんですね。橋下市長は、市大と府大の統合問題で大学リストラを大阪で先取りして、中央からの支持を得ようとしているところがあります。コンサルティング会社「マッキンゼー」の共同経営者だった上山信一氏（慶應義塾大学教授）が、府市の特別顧問や大阪府市新大学構想会議の委員を務め、大阪で大学統合の先兵的役割を果たしてきました。今、市大の運営は、橋下市長が集めてきたそういう人たちに握られています。